



C o n c e p t

川のせせらぎ 爽やかな風 森の木漏れ日

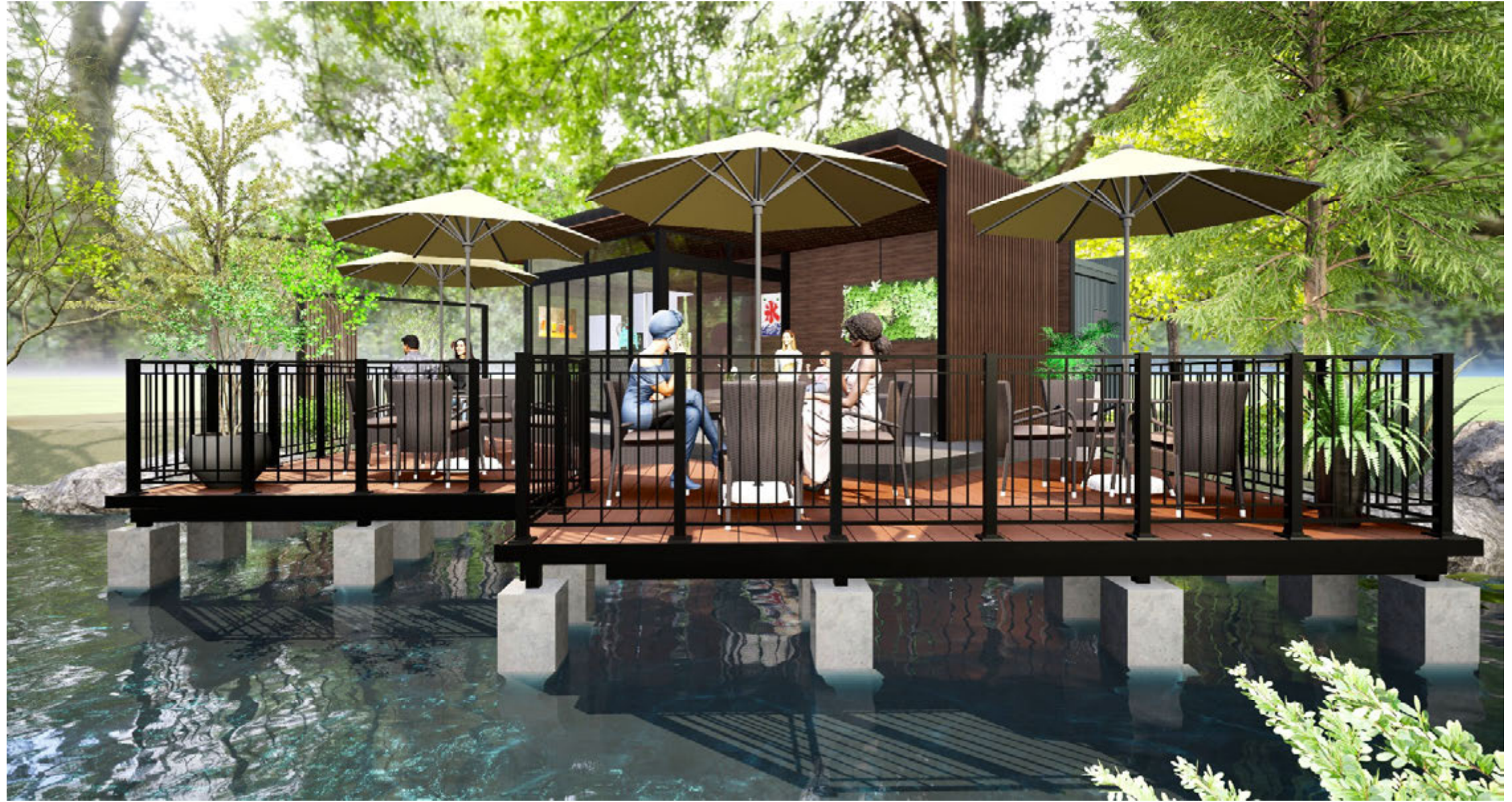
近年の厳しい厚さの夏でもアウトドアを楽しめる、涼しいを追及した空間を設計しました。

京都を中心に楽しまれている「川床」を、エクステリアの空間で再現しました。

水面の上に座席を儲け、川のせせらぎや風で涼しさを感じながら食事と風情を楽しむ川床は、京都で江戸時代から続く夏の風物詩です。

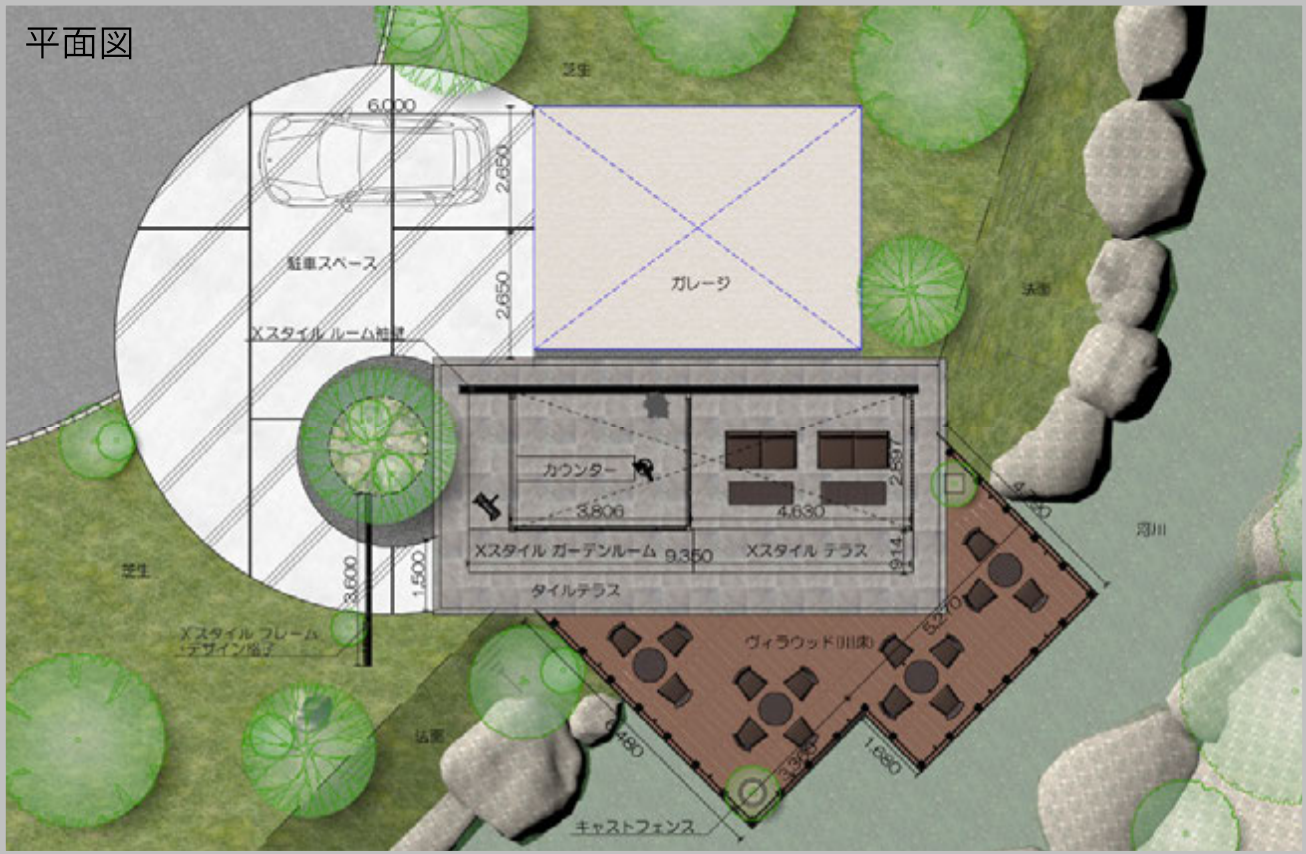
読み方は地域などでかわどこ・かわゆかと変わり、納涼床と呼ぶ事も有るようです。

本来は和の伝統的なおもむきの有る施設が多いですが、今回は耐久性を考慮し、黒が基調のアルミ部材を取り入れ、現代的でスタイリッシュなデザインで設計しました。



外には狭いですが駐車スペースを確保、アプローチにフレームのアーチとテラス側面と合わせた、和の雰囲気意識した縦格子スクリーンを設置する事で、開放感を失わないまま空間を仕切り、お店の中の特別感を演出しています。

周辺に山取りの落葉樹を主に植栽し、根本に景石や割栗石の築山を置くことで、自然豊かな川辺の風景に溶け込むよう配慮しました。





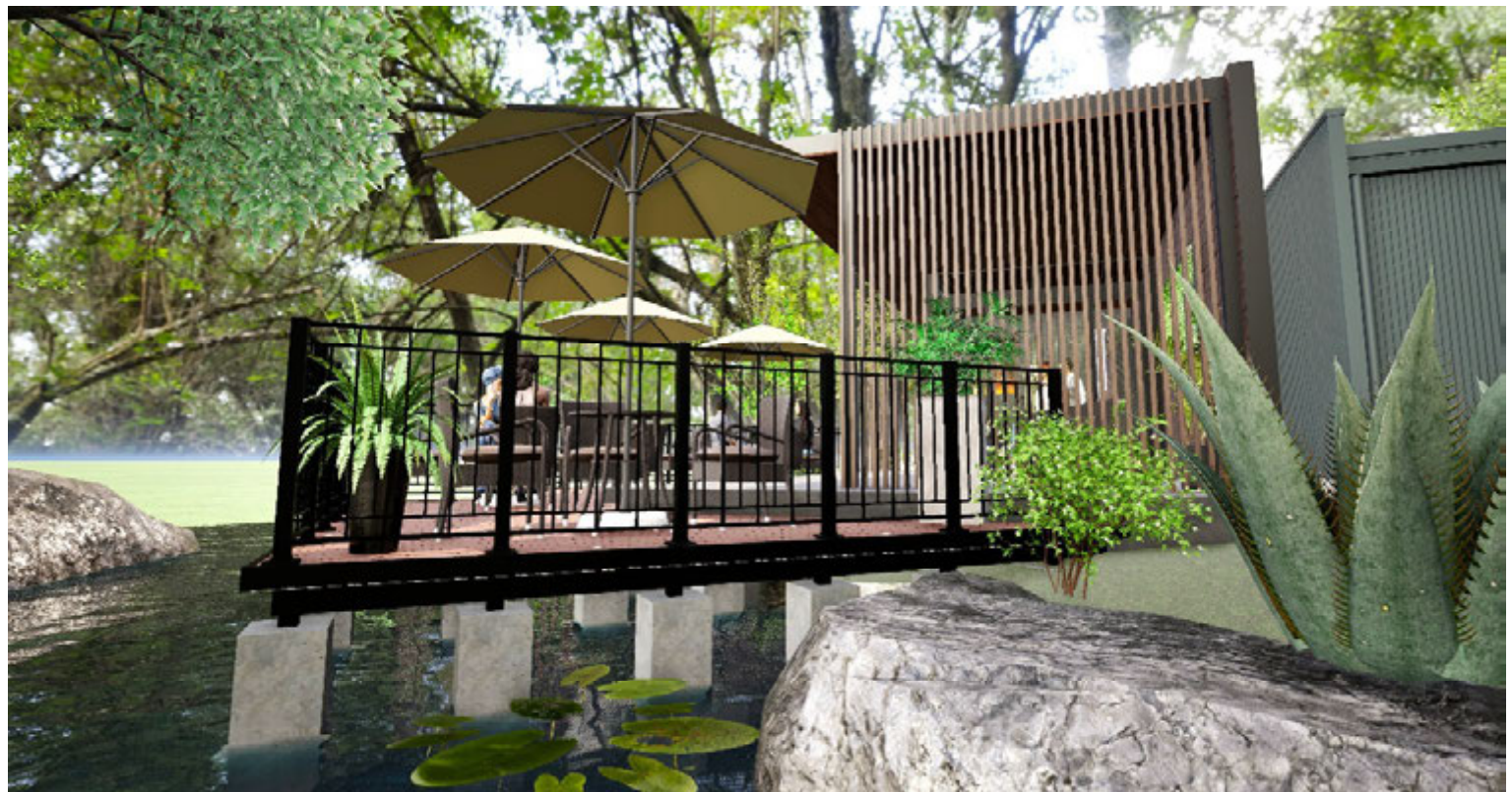
ガーデンルームを、夏はかき氷やアイス、冬は暖かい飲みものを提供するスペースにしました。

お祭りの屋台程度の広さしか無いため、裏にガレージを儲け、食材や備品等を置くスペースを確保しています。

飲食スペースのメインは木樹脂デッキの川床ですが、ガーデンルームを雨の日でも使えるスペースにしています。

小さい子供が川に落ち無いう、隙間が狭いスタイリッシュなデッキフェンスを設けました。

川部の束柱は増水が予想される高さまでコンクリートの基礎にし、大雨等に対応しています。





川床は夜も提灯やランプで明るく照らし、酒宴を催す事も醍醐味のようにです。

今回はサンルームとテラス部のダウンライトとデッキのアップライトを中心に、ポール灯や植栽灯を多数設置し、お祭りの夜のような華やかさを演出しました。

デッキの下にもラインライトを仕込むことで、流れる水面に光が反射し、夜でも幻想的な川の風景を楽しめるように設計しました。

